

[Scala By Example](#) の和訳

- [第 1 章 はじめに](#)
- [第 2 章 最初の例](#)
- [第 3 章 アクターとメッセージによるプログラミング](#)
- [第 4 章 式と簡単な関数](#)
- [第 5 章 第一級の関数](#)
- [第 6 章 クラスとオブジェクト](#)
- [第 7 章 ケースクラスとパターンマッチング](#)

- [第 8 章 ジェネリックな型とメソッド](#)
- [第 9 章 リスト](#)
- [第 10 章 For内包表記](#)
- [第 11 章 ミュータブルな状態](#)
- [第 12 章 ストリームによる計算](#)
- [第 13 章 イテレータ](#)
- [第 14 章 遅延評価val](#)
- [第 15 章 暗黙の引数と変換](#)
- [第 16 章 Hindley/Milner 型推論](#)
- [第 17 章 並列処理の抽象](#)

和訳 PDFは[こちら](#)です

reStructuredTextで書きました。ソースや作り方は PDF最後のページに添付ファイル(UTF-8 BOMなしテキスト)として埋め込んであります。

[第 1 章 はじめに](#)

[第 2 章 最初の例](#)

[第 3 章 アクターとメッセージによるプログラミング](#)

[第 4 章 式と簡単な関数](#)

- [4.1 式と簡単な関数](#)
- [4.2 パラメータ](#)
- [4.3 条件式](#)
- [4.4 例：ニュートン法による平方根計算](#)
- [4.5 ネストした関数](#)
- [4.6 末尾再帰 \(Tail Recursion\)](#)

[第 5 章 第一級の関数](#)

- [5.1 無名関数 \(Anonymous Functions\)](#)
- [5.2 カリー化 \(Curring\)](#)
- [5.3 例：関数の不動点探索](#)
- [5.4 まとめ](#)
- [5.5 ここまでの構文](#)

[第 6 章 クラスとオブジェクト](#)

[第 7 章 ケースクラスとパターンマッチング](#)

- [7.1 ケースクラスとケースオブジェクト](#)
- [7.2 パターンマッチング](#)

[第 8 章 ジェネリックな型とメソッド](#)

- [8.1 型パラメータの境界 \(Type Parameter Bounds\)](#)
- [8.2 変位指定アノテーション \(Variance Annotations\)](#)
- [8.3 下限境界 \(Lower Bounds\)](#)
- [8.4 最下層の型 \(Least Types\)](#)
- [8.5 タプル \(Tuples\)](#)
- [8.6 関数](#)

[第 9 章 リスト](#)

- [9.1 リストの使用](#)
- [9.2 リストクラスの定義 :一階メソッド](#)
- [9.3 例：マージソート](#)
- [9.4 リストクラスの定義 :高階メソッド](#)
- [9.5 まとめ](#)

[第 10 章 For内包表記 \(For-Comprehensions\)](#)

- [10.1 N クィーン問題](#)

[10.2 For 内包表記によるクエリ](#)

- [10.3 For 内包表記の変換](#)
- [10.4 For ループ](#)
- [10.5 For の一般化 \(Generalizing For\)](#)

[第 11 章 ミュータブルな状態](#)

- [11.1 状態を持つオブジェクト \(Stateful Object\)](#)
- [11.2 命令型制御構造 \(Imperative Control Structures\)](#)
- [11.3 高度な例：離散イベントシミュレーション](#)
- [11.4 まとめ](#)

[第 12 章 ストリームによる計算](#)

[第 13 章 イテレータ](#)

- [13.1 イテレータメソッド \(Iterator Method\)](#)
- [13.2 イテレータの構築 \(Constructing Iterators\)](#)
- [13.3 イテレータの使用 \(Using Iterators\)](#)

[第 14 章 遅延評価val](#)

[第 15 章 暗黙のパラメータと変換](#)

[第 16 章 Hindley/Milner 型推論](#)

[第 17 章 並列処理の抽象](#)

- [17.1 シグナルとモニター \(Signals and Monitors\)](#)
- [17.2 同期変数 \(SyncVars\)](#)
- [17.3 フューチャー \(Futures\)](#)
- [17.4 並列計算 \(Parallel Computations\)](#)
- [17.5 セマフォ \(Semaphores\)](#)
- [17.6 リーダー/ライター \(Readers/Writers\)](#)
- [17.7 非同期チャンネル \(Asynchronous Channels\)](#)
- [17.8 同期チャンネル \(Synchronous Channels\)](#)
- [17.9 ワーカー \(Workers\)](#)
- [17.10 メールボックス \(Mailboxes\)](#)
- [17.11 アクター \(Actors\)](#)

[参考文献](#)

- 一応の方針として、(1)まず全部翻訳完了する、(2)次に皆様のご指摘を元に訳文の修正、(3)もし気力が続けば最後にLaTeXソース修正 -> PDFの変換、を行いたいです。なので、ご指摘をこまめに修正してませんがご容赦下さい（というかWikiなので直して頂いてOK） -- tmiya (2008-09-26 11:04:21)
- 次のchapterへのリンクが欲しいです -- ななし (2008-12-22 00:08:59)
- 一応このWikiは下訳のつもりなので操作性を余り考慮するつもりはないのですが、誰でも編集出来るwikiなのでリンクなどを付けて頂いてOKかとも思います。修正頂けると助かります。 -- tmiya (2008-12-29 14:15:07)
- お疲れの tmiya様に代わって、16,17章の試訳したいけど、その前に Scalaの勉強をしないといかんです。あと、PDF化もしたいな。 -- BAREISHO (2010-09-08 13:20:23)
- もうずいぶん長く「試訳公開」されてきたので、PDF化に先だち異論がなければ16, 17章を除き、ここいらでチュートリアルと同じ形にしまおうと思っています。 -- BAREISHO (2010-09-17 21:23:56)
- 順次、Tutorialと同じ形式にしたいと思います。 [編集メモ](#) -- BAREISHO (2010-10-21 21:01:00)
- 言語仕様2.8の訳にあわせ、argumentを「引数」、parameterを「パラメータ」と訳語を統一しました。 -- BAREISHO (2011-02-24 09:33:00)

名前:	<input type="text"/>
コメント:	<input type="text"/>

投稿